

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名></p> <p>虚血性心疾患患者の治療後の Phase bandwidth と心血管イベント発症予測についての調査研究</p>
<p><研究機関・研究責任者名></p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 (研究責任者) 依田 俊一</p>
<p><研究期間></p> <p>承認日 ~ 西暦 2022 年 3 月 31 日</p>
<p><研究の目的と意義></p> <p>虚血性心疾患を有する患者さんに対し冠動脈形成術もしくは薬物治療を行い、心筋虚血を改善させることで心血管イベントを減らし、予後改善につながる事が知られています。また虚血性心疾患では左心室の収縮開始に遅延が生じる左室同期不全がしばしば認められます。昨今、心筋シンチグラフィーを用いて左室同期不全の評価が可能となりましたが、日本人において、治療後の心筋虚血改善と左室同期不全指標である Phase bandwidth と心血管イベント発症予測についての関連性は示されておられません。そのため、当院で心筋シンチグラフィーと冠動脈造影を施行した患者さんの治療後の心筋虚血改善量と左室同期不全指標を調査する探索的観察研究を行います。</p>
<p><利用する試料・情報の項目></p> <p>この研究では、診療記録を参照して予後調査を行います。</p>
<p><対象となる患者さん></p> <p>2004 年 10 月から 2018 年 3 月の間に当院にて、心筋血流シンチグラフィーと冠動脈造影を施行した患者さんのデータを使用します。本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方は、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。</p>
<p><研究の方法></p> <p>本研究では、虚血性心疾患を有する患者さんに対して心筋シンチグラフィーと冠動脈造影を施行し、治療後の心筋虚血改善と左室同期不全指標である Phase bandwidth と心血管イベント発症予測についての関連性を調査・解析する探索的観察研究です。予後の追跡は、現在通院中の患者さんについてはカルテの記録を参照して予後調査を行い、個人情報やプライバシーの保護について十分配慮して行います。</p>
<p><お問い合わせ窓口></p> <p>日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)</p> <p>循環器内科 氏名: 依田 俊一</p> <p>電話: 03-3972-8111 内線: (医局)2412 (PHS)8054</p>